

## 決 済 動 向

— 平成5年12月 —

(平成6年2月14日)

### 1. 日本銀行における決済関連計数

12月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.1万件(前年比+4.7%)、金額ベースでも335.1兆円(前年比+15.8%)とともに前年比がプラスになった。金額ベースの内訳をみると、当座預金振替が、296.6兆円(前年比+18.1%)となったほか、民間の集中決済制度にかかる資金決済は30.8兆円(前年比+5.5%)となった。

12月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで3.6万件(前年比+47.2%)、金額ベースで118.1兆円(前年比+53.3%)となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースでは3.4万件(前年比+4.6%)、金額ベースでは192.8兆円(前年比+9.5%)となった。

12月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースで136.2万件(前年比+5.7%)、金額ベースで6.1兆円(前年比△7.2%)となった。

12月の日本銀行における銀行券受払高(月中合計)は受入高7.6兆円(前年比△19.4%)、支払高14.3兆円(前年比△1.9%)となった。

### 2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、12月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースでは50.1万枚(前年比△13.0%)、金額ベースでは11.2兆円(前年比+3.1%)となった。

12月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは410.5万件(前年比+8.2%)、金額ベースでは8.2兆円(前年比+11.3%)となった。

12月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは2.4万件(前年比+20.8%)、金額ベースでは25.2兆円(前年比+25.6%)とともに前年を上回った。

### 3. その他

12月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は11.7万契約(前年比2.7倍)、月末の建玉数量は100.5万契約(前年比2.3倍)と引き続き前年を上回った。

12月のS W I F Tの総送信件数(本邦分、月中合計)は、174.8万件(前年比+14.0%)となった。

(信用機構局)